

2017年1月16日
株式会社日立製作所

デジタルビジネス時代のITシステム運用を最適化する 統合システム運用管理「JP1 V11.1」を販売開始

株式会社日立製作所(以下、日立)は、このたび、統合システム運用管理「JP1」の最新版である「JP1 V11.1」を製品化し、1月17日から販売開始します。また、同時に、JP1製品を活用したIT運用を最適化する「運用最適化ソリューション」を新たに提供開始します。

昨今、デジタルビジネスの進展に伴い、企業間競争がこれまでの業界の垣根を越えてますます激化する中で、さまざまなユーザーのニーズの変化に迅速に対応して競争に勝ち抜くためには、企業のサービスやそれを支える業務システムも、日々柔軟に変化に対応していくことが重要になっています。

このような背景のもと、日立は、2016年1月に販売開始した統合システム運用管理「JP1 Version 11」の機能強化版として、変化への柔軟な対応が求められる業務システムを支えるとともに、システムの健全性を維持し、運用の最適化を支援する「JP1 V11.1」を新たに製品化しました。

また、2016年7月にITサービスマネジメント分野における協業を開始したServiceNow社*1との協業成果の一つとして、「運用最適化ソリューション」を新たに提供開始し、運用管理ツールを活用した現場で課題となっているITガバナンスの強化や、標準化された運用プロセスに沿った適切な運用の実践などを支援していきます。

*1: 米国のエンタープライズクラウドサービス企業 ServiceNow Inc.の日本法人である ServiceNow Japan 株式会社

■「JP1 V11.1」の主な特長

1. 業務やDBなどミドルウェアを含めた構成を可視化し、業務システムの健全性を容易に確保

仮想化などの利用により構成が複雑化するITシステムにおいて、システム全体の稼働状況を把握・分析し、安定稼働を支援する「JP1/Operations Analytics」を強化しました。従来のサーバやストレージ、ネットワークなどのITインフラ層における構成の可視化に加え、新たに業務(ジョブ実行基盤)やDB(データベース)などのミドルウェア層の構成とITインフラ層との関係性も可視化することができます。これにより、業務システム全体における健全性の把握や、システム障害発生時における障害の一次切り分けなどを容易に行うことができるため、迅速な障害対処が可能となります。

2. 業務実行基盤のさらなる強化により、日々のジョブ運用をさらに容易化

国内シェアNo.1のジョブスケジューリング製品*2「JP1/Automatic Job Management System 3」の強化を行いました。業務の実行状況を把握するWebコンソール画面上において、今回新たにガントチャート表示を追加し、担当業務の進捗状況や遅延の有無などを視覚的に把握できるほか、過去の実績との比較を簡単に実施できるなど、実行スケジュールの監視がさらに容易になりました。

このほか、既存システムとの連携が容易なREST API*3の対応範囲を拡充したほか、Amazon Web Services環境でのオートスケール機能を活用した運用において複数エージェントへのジョブの

一斉実行を実現し、幅広い環境下での柔軟なジョブ運用を可能としています。

*2: 出典: IDC Japan, 2016年6月「国内システム管理/ネットワークソフトウェア市場シェア、2015年: 仮想化ベンダーのシェア拡大」(IDC #JPJ40607016)

*3: Webアプリケーションインターフェースの一種。OSによらず HTTP 経由で連携が可能で、柔軟に変化する環境への適用が容易になる

3. 日立の豊富な業務運用ノウハウを組みこんだ「運用最適化ソリューション」を新たに提供

日立が永年にわたり培ってきた「JP1/Automatic Job Management System 3」での豊富な業務運用のノウハウを適用した「運用最適化ソリューション」を新たに提供開始します。本ソリューションは、継続的な業務システムの見直しや突発的な業務変更などへの対応に伴い、運用担当者の負荷増大とともに作業ミスリスクも増える中で、JP1 を熟知した日立の技術者がお客さまの運用に適した業務運用プロセスの標準化、自動化を実現するシステムを構築し、運用を最適化するソリューションです。また、自部門の生産性を継続的に改善していきたいシステム運用部門の管理者向けに、利用部門からの要求件数、作業遅延の有無、期限の遵守率など、自ら設定した運用に関する KPI*4 をひと目で確認できるポータル画面を提供するなど、お客さまごとのニーズに合った運用最適化を支援していきます。なお、これらを迅速かつ容易に実現する実行基盤として、SaaS 型 IT サービス管理「ServiceNow」を活用しています。

*4 KPI(Key Performance Indicator): 重要業績評価指標

■ 主な強化製品および関連ソリューションの価格と提供開始時期

名称	概要	価格(税別)	出荷時期/ 提供時期
JP1 V11.1 ソフトウェア製品			
JP1/Operations Analytics	IT システム全体の運用を分析する製品	360,000 円～	2017 年 1 月 31 日
JP1/Automatic Job Management System 3 - Manager	業務を決められた順序で、スケジュールに従って自動実行する製品	270,000 円～	
JP1 関連ソリューション			
運用最適化ソリューション	IT システムの運用プロセスを標準化・自動化し、運用の最適化を支援するサービス	個別見積	2017 年 1 月 17 日

■ 統合システム運用管理「JP1」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

■ 関連ニュースリリース

・統合システム運用管理「JP1 Version 11」を販売開始(2016 年 1 月 12 日)

<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2016/01/0112.html>

・日立と ServiceNow が IT サービス管理分野での協業に合意(2016 年 7 月 19 日)

<http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2016/07/0719.html>

■商標注記

- ・HITACHI、JP1 は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。
- ・Amazon Web Services は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ServiceNow は、米国 ServiceNow, Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本件に関するお問合せ先

電話でのお問い合わせは HCA センター(Hitachi カスタマ・アンサ・センター)へ
(フリーダイヤル)0120-55-0504

受付時間:9:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

以上